

作成年月日	平成19年6月18日
作成部局	丹波県民局

一般国道372号日置バイパスの供用開始

一般国道372号は、京都府亀岡市を起点とし、篠山市から加東市、加西市を経て姫路市に至る総延長103.2km(うち県内81.2km)の広域道路で、丹波地域と播磨地域を結ぶ、生活、産業、観光を支える幹線道路である。

しかしながら、篠山市辻^{やかみかみ}～八上上にかけては、幅員狭小で見通しが悪く車両のすれ違いが困難な箇所が多くあり、大型車両の通行による民家の軒先破損などの事故が発生していた。

このため、平成8年度から日置バイパス道路改築事業に着手し、順次、平成11年に延長2.2km、平成17年に延長0.6kmを供用開始したところであるが、このたび最終工区の延長1.7kmが完成したことから、次のとおり開通式を開催し、全区間の供用を開始する。



日置バイパスの事業概要

路線名：一般国道372号
事業名：地域連携推進事業
施工箇所：篠山市辻～八上上
施工延長：4,550m
幅員：車道2車線6.5m 全幅12.5m
事業期間：平成8年度～18年度
総事業費：約34億円



1. 開通式

日時：平成19年7月1日(日) 午前10時00分から
場所：日置バイパス特設会場(中央部付近)及び市立城東公民館
内容：テープカット、くす玉割り等
主催：篠山市日置校区自治会
共催：丹波県民局、篠山市

2. 供用開始日時 平成19年7月1日(日)(開通式終了後 13:00～)

